



# 第50回ソフトボール大会

6月2日(木)に第50回大阪知的障がい児・者合同ソフトボール大会がありました。四条曙福祉会ソフトボールチームにとって1年に1度の大会で、みなさん気合十分で試合に臨まれていました。今回は50回記念大会でもある試合の中、第1試合は泉佐野にある事業所さらの郷の「さらの郷さらーず」。緊張の中試合が始まり1点を先に取られてしまうもその後に追いつく事に成功し試合は終了。勝敗はじゃんけん大会へと移り惜しくもじゃんけんで負けてしまいました。この試合で選手のみなさんは手ごたえを感じたと思います。

2試合目はせんぼく障害者作業所の「ガッツせんぼく」で少し緊張は残っていましたが、すぐに打線爆発！この試合を6対1で勝利する事が出来ました。1勝1敗の成績で見事にCリーグ準優勝という好成績を納められました。賞状とトロフィーをいただき、賞状は津の辺の食堂に飾り、トロフィーは各事業所を巡回しています。今大会では元南海ホークスの小池さんが来られており、選手達と記念撮影をされていました。選手にとっては元プロ野球選手と触れ合えた事は大きな財産になったと思います。来年こそは念願のユニホームを揃えて優勝を目指します。  
(坂本 拓真)



今年は、応援チームも参加しました



全員笑顔でハイ、ポーズ！

## サーカスに行ってきました～



木下サーカス株式会社様および、株式会社読売新聞大阪本社様より、府障害福祉課を通して府内の社会福祉施設等に対して「木下大サーカス大阪花博公演」のチケット寄贈があり、津の辺の1日外出で利用させていただきました。

28年度は例年の「全員で出かける」という趣向を変えてグループ単位での取り組みとなりました。

木下大サーカスといえば「リングリングサーカス」「ポリショイサーカス」と並び「世界の三大サーカス」と言われています。ショーの中でもクラウンのパフォーマンスやコント、ジャグリング、空中ブランコ、中でもアクロバットバイクには皆さん圧倒されていました。トラやホワイトライオン、ゾウ、キリン達の動きには目を輝かせ大きなリアクションをしながら楽しんでいました。

**楽しかったです♪**

それぞれのグループで昼食の場所も違い、レストランでのお弁当、咲くやこの花館のフードコート、自分の好きな物を選ぶ食堂の利用、みなさん色々な経験をしました。

帰りも電車組は自分たちで切符を購入し野崎駅まで帰ってきました。少人数でしか味わえない取り組みが出来たと思います。また動物が苦手、暗い所が苦手などサーカスに参加されなかった利用者さんには…9月に別の企画を考えています。

(花村 昭子)

# 京料理と最新スポット

## 四条作業所

待ちにまった恒例の年1回の1日外出。今回は、4月にオープンしたばかりの京都鉄道博物館～美濃吉の京弁当御膳を食べるツアーです。

京都の観光名所は今まで色々行ってきましたが、「どこよりも早く最新観光スポットに行きたい精神」が止められず、皆の思いとも一致しまして行く事になりました。



ごちそうです♪

京都鉄道博物館にはいろんなものが展示され、体験することができるものが多く、じっくり見て回っていたら時間が足りない感じではありましたが、昔懐かしい電車やシミュレーターなど興味をそそるようなものばかりでした。Tさんは、行き先が京都という事もあり終始、ソワソワした様子でした。平日ということもあり混雑に巻き込まれることもなく、ゆったり見学できました。さあ、今から来年オープン予定の新しいテーマパークを探そうと。

(山本 秀明)



やってきました！  
新スポット☆

# 収穫野菜でお昼ごはん

## 部屋作業所

6月に玉ねぎ、じゃがいもを収穫しました。玉ねぎは植える時期が遅かったのか思っていたより小さく、スーパーなどでは売れる商品ではない状態でした。ですが、レッドオニオンは大きいサイズも多く、せめて種代くらいになってくれたらと期待しています。レッドオニオンは、サラダがメインになると思います。皆様もたくさん食べて血液サラサラになってください。

じゃがいもは例年通りの大きさと玉ねぎの分も売り上げを期待しつつ、せっかく収穫したので6月末に行う調理の日は食材として使いたいと思います。では皆様にクイズです。調理実習では何を作るでしょうか？現在私がこの文章を作成しているのは6月上旬で今現在私も何を作るかまだ決めきれていない状況です。玉ねぎ、じゃがいも、調理の時期には夏野菜も一部収穫できていると思いますのでそれを使い、贅沢三昧したいと思います。

白黒の写真で分かりづらいと思いますが写真を見て当ててください



調理中☆

(追記)6月30日に調理実習を行いました。じゃがいも、玉ねぎ、きゅうり、な

すび、その他足りない物はスーパーにて購入しサラダ作りからメインの料理まで全員で楽しく参加できました。少し分量を間違え薄味になってしまいましたが……



正解は……

美味しい夏野菜カレーでした！！

(福留 真二)

# 研修報告

5月26日にわかくさ竜間リハビリテーション病院の糸田歯科医師に「口腔ケア」について講義していただきました。利用者さんの高齢化に伴い、口腔ケアは大切だと感じています。更に今回の講義では口腔ケアにとどまらず健康につながる様々なお話があり、中でも「咀嚼～嚥下への連動した動き」について

強く関心を持ちました。

私たち支援員が一番神経をとがらせるとき、それは食事場面です。この数年食べているときにむせる方が多くなってきています。

食べ物を飲み込むとき、喉仏が動きます。これは肺に食べ物が入らないように喉頭蓋（こうとうがい）という器官を使っていわゆる「蓋をしている」そうです。その蓋がうまく閉まらなると食べ物や唾液が肺に入ってしまう、取り除こうとして反射的にむせるそうです。しかし、加齢にともない機能も低下し、むせても食物や唾液が気管に入ったり、機能の状態によってはむせる反射機能も起こらず知らないうちに誤嚥してしまい、それらに含まれた細菌が器官から肺に入り込むことで誤嚥性肺炎になってしうとのことで、実際高齢者の死亡原因の上位に「肺炎（誤嚥性を含む）」はなっているとのことです。特に不顕性誤嚥について、私たちはどのように気づき、防いでいけばいいのかが課題でもあります。

喉仏の蓋の機能は前述のように加齢により低下を招いてしまうので、咀嚼嚥下機能を維持するための運動は「噛む」ことです。簡単に言うと「柔らかいものを食べる＝噛まない＝嚥下の機能が弱まる」

「大きいものや固いものを食べる＝噛む＝嚥下機能の維持」となるそうです。しかし、利用者さんの中には「噛んでください」と言っても実際伝わっているのか不明な方や、長年の食べ方がなかなか変わらないむずかしさもあります。ご本人が理解されていないと危険と隣り合わせです。

安全の為に食事を小さく提供することが飲み込む力を弱くしてしまい誤嚥性肺炎などの危険に繋がってしまう。安全への配慮とは何か・・・と考えさせられる研修となりました。（郡美由紀）

## 愛情を注いだ〇〇がついに。。。！ ～みなみの工房～



前回の話の続きで、みなみの工房のじゃがいもの行方は？をお送りしたいと思います。

自慢の花壇の実力は、日当たり良好、土の状態も良好と相当レベルが高かったようで、結果から申し上げますと、大・成・功！の収穫となりました。

さて、その話の中身ですが去る6月初旬、すくすく育ったじゃがいもの葉が徐々に黄色くなってきて、茎がしょんぼりとなり倒

みなさん夢中です☆

れて、これはいよいよ何かの病気に罹って

しまい全滅？なんて無知なわたくしどもは毎日心配でした。地域の人、職員から情報を集めていく内に、なんて事はないそれが収穫の知らせだったようです。「やったことがないから、やってみたい」と積極的に挑戦してくれました。「よいしょ～」とみんなの掛け声に合わせて引っこ抜いてくれ、掘り出してきたじゃがいもの大きさは想像をはるかに超えたもので、何故かみんなで大爆笑。「ここにもあった」「ここにも・・・」と利用者が無

こんなに大きなじゃがいもが！



我夢中で掘り起してくれました。この体験はきっと来年も又その先も語られる、素晴らしい収穫でした。採れたじゃがいもは、昼食とコラボメニューにしたり、ポテトフライにしたりと、「やっぱりみなみの工房産は、おいしいね」とみんなで食べつくしましたので、皆様には分け前ゼロです。

（上原 和人）

# 人生は選択の連続だ！

## 支援センターしのぶが丘

人は何かを選ぶとき何を基準にしているのだろうか？今はサービスを選ぶのが当たり前になっているが、言い換えれば、サービスを選ばなくてはいけなくなったといえます。しかし、中には選ぶということを苦手としている人もいるわけで、そこであらためて意思決定について考えてみたいと思います。まず、意思決定支援の定義としては“知的障害や精神障害(発達障害を含む)等で意思決定に困難を抱える障害者が、日常生活や社会生活等に関して自分自身がしたいと思う意思が反映された生活を送る事が可能となるように、障害者を支援する者が行う支援の行為及び仕組み”とされています。



その意思決定の内容(領域)ですが、大きく3つの領域に分類されています。一つ目は生活の領域(食事、更衣、移動、排泄、整容、入浴、余暇、社会参加等)、二つ目は人生の領域(住む場所、働く場の選択、結婚、障害福祉サービスの利用等)、三つ目は生命の領域(健康上の事項、医療措置等)です。

このように細かく分類されていますが、大事なことはそれぞれの領域、場面で本人が何をしたいか、何を望んでいるのかを汲み取って、支援を組み立てることが大切であり、それが本人のベストインタレスト(最善の利益)につながるのので、たとえ周りの人が「こうするほうがいい」と言ったとしても、本人が「そうではなく、こうしたい」と言う事が一番大事であると思います。

(田中 敏)

## 手をつなgoodボウリング

## 忍丘作業所

今回も電車で会場の弁天町グランドボウルに行きました。着くと開会式、休む暇もなく慌ててボールを探して練習をしました。5分ほどするとすぐに大会が始まり、大半の方は補助具を使いました。ほとんどの方が何回もボウリング大会に参加している事もある、慣れた手つきで投げていました。1投目が右の方にいったので、補助具の向きを左にすると、余計に右の方へ曲がってしまうなど、なかなかスコアが伸びませんでした。補助具を使ったらスコアが伸びないのかなあ？と考えていると、隣のレーンの人が補助具を使って150UPしていてビックリ！！しました。私1人でスコアの事を気にしていたのですが、みんな楽しそうにボウリングをしている姿を見て、楽しむことが一番だと気づき、その場の雰囲気を盛り上げることに専念しました。大会が終わってから、蕎麦屋さんでご飯を食べ、今日の感想を聞くと「また来年も行きたい」「楽しかった」などの声があがり安心しました。ある利用者さんからは「わからない」といつもの答えが返ってきて少しホッとしました。

(神田 卓哉)



よろしくお願いします

7月に津の辺から忍丘作業所に異動になりなした、尾座恵子です。人数も違いゆったりと利用者さんに関わり、教えてもらいながら過ごさせてもらっています。一緒に色々なことにチャレンジしていく中で発見し成長していけたらと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(尾座 恵子)



お手並み拝見！

# しとみやの家でインタビューしました

4月からスタートしましたグループホーム「しとみやの家」です。最近は蒸し暑い日が続いていますが今日まで特に体調を崩される方もいなくて、皆様順調な日々を過ごされております。新しい生活について利用者Sさんにインタビューしました。

頂きました！



でっかい  
スイカ！！

Q. ホームでの生活はいかがですか？ A. こっちの方が良いかな（以前は施設入所利用でした）

Q. ごはんはどうですか？

A. うまい！うまいよ！！

Q. 楽しい事はなんですか？

A. テレビ、テープを聴く、小さいラジオええわ

Q. やってみたい事はありますか？

A. ない、ないなあ～残念・・・あ、ビール呑みたい

Q. 嫌なことはありませんか？

A. ないです！

今の生活にある程度満足していただいているようなので他の皆様にも楽しく毎日過ごしてもらえそうな環境を提供していきたいと思っています。

しとみやの家ショートステイは5月よりスタートしました。まずは法人利用者さんにサービスを提供させていただいています。よりよいサービスの為にスタッフの増員や支援力をあげることが今後の目標です。

(木村 武志)

## それぞれのホームでは。。。

従来のホーム（清滝の家・北条の家・二丁通の家）の様子です。利用者さんの変動はありませんが、4月にしとみやの家開設にともない、スタッフ側に若干の変更がありました。その影響からか春先は少し落ち着かない事もありますが、ホーム利用期間が比較的長い利用者さんが多く、生活リズムが安定していますので、時間と共に落ち着き、穏やかな生活を送られています。

利用者さんから感想を聞くとほとんどの人が「ホーム好き」「ご飯おいしい」と答えてくれています。また世話人さんも明るく、母親のような温かい心を持って接して頂いておりますので、本人の家としての機能を果たしていると感じています。

今後の課題としては、健康維持に十分に配慮しないといけないと思っています。利用者さんの年齢層が高い傾向があり、食事や運動・怪我・定期通院・持病の管理等、見守って行きたいと思っています。

これからも安心して生活できるホームを継続して行きたいと思っておりますので、利用者さんや保護者の皆様方のご協力をお願いいたします。

(田邊 浩二)

**\*個性溢れるそれぞれのホームです\***



# 法人研修

7月30日に、四条暁福社会で職員研修を行いました。パネルディスカッションとグループワークという形で行い、今回、コーディネーターに第2三恵園施設長の木村先生を招き、パネラーには熊取療育園施設長の北村先生、親の会会長、なわて更生園園長、津の辺園長の計4名がそれぞれ「命に関する過去の経験」「これから期待している事」「職員へ一言」という題でさまざまなお話をしていただきました。

今回の一番印象深い言葉は何より保護者のご意見でした。日々、私たちは利用者の方たちを支援していく中でどのように満足していただくか、利用者さんをど真ん中に置いて安全と安心を第一に支援員全員で密に連携をとり、命をお守りすること、利用者さんが何を求めているのかをその方の立場に立って考える重要さを改めて感じました。その上で利用者さんを通じての保護者との信頼関係はとても大切であり、どんな些細な情報でも日頃から関わりを持ち、その積み重ねが利用者支援に大きく影響するものであると思いました。

「笑顔あふれる支援とは」というテーマについて、私たちのグループは思いやりがある場所という結論に至りました。利用者さんに安心して楽しく過ごしていただける支援を。それには支援員間でお互いに対する優しさを持ち、良いチームワークを築くことが重要です。私たちは、利用者さんそれぞれの障がい特性に合った視点で支援し、どうすれば豊かな生活が送れるかを日々を皆で振り返りながら支援していく必要を感じました。

利用者の立場に立って、自分だったらどう支援して欲しいかを考え、利用者さんの良い所に目を向けちがう一人ひとりと向き合っていかなければならないと思います。

この研修に参加し、保護者からの感謝というありがたいお気持ちを忘れず、安心安全を第一に利用者支援の基本を法人全体で再確認できました。人はなかなか変われませんが、まずはこれまでの自分から気持ちを見つめ直して、新たな気持ちで日々の関わりを大切にしていきたいと考えています。

(安藤 千恵子)



## \*ニューフェイスの紹介です\*



いぬい みわ  
**乾 美和さん**



わけ せいや  
**和家 生弥さん**

**この度、8月5日より和家さんが、9月1日より乾さんがなわて更生園の新メンバーになりました。これからお2人の色々な一面を見せたいと思っています。よろしくおねがいします。**

# 上原園長の ブレイクタイム



この9月号機関誌がお手元に届いている頃にはすでに当施設にて大規模改修が進められていることと思われま。平成2年に開所し今年で26年目を迎えます。館内外の老朽化はさることながら、ご利用者の高齢化に伴ってのハード面のバリアフリー化や高齢対応仕様のリフォームの必要性が年々上がっていましたが、この度ようやく大規模改修工事を進める運びとなりました。8月後半から工事着工し、12月後半までの4ヶ月間ほどの期間を要します。設計士の方と協議しながら、施設での工事の困難さを今回痛切に感じたのは、当たり前話ではありますが、ご利用者が住まわれながら工事を行うということです。何より環境の変化が苦手な方が沢山おられる中、住まいという一番落ち着かないといけないところが落ち着かないということです。業者の方の出入りや資材の搬入搬出、工事中の騒音等普段ないものがある違和感の中、どれだけ普段と変わらない生活を過ごしていただくかは支援者側の裁量にかかっています。この度は4ヶ月間という長期にわたっての初めての工事のため、利用者はもとより、職員も未知の経験なだけに不測の事態が起こらないようにその間はこれまで以上に細心の注意を払って支援体制を組みながら進めていかなければと感じております。

例えば、当然普段使っているトイレが使えない、ポータブルもしくは場合によっては別の階のトイレを使用しなくてはいけない、利用頻度の高い朝の時間帯の支援体制をどうする、男性浴槽の改修中は女性浴槽を使わないといけないがそれに伴って午後からの日課を繰り上げて全面的にどう日課を見直すのか、キューピクル更新工事のため一日遅くまで停電の際は全体で外出をどう整えるか、屋上防水工事に伴う空調室外機の移設期間の使用不可の間の空調管理はどうする、等々、工事工程や工事場所によって支援の在り方を検討することは多々ありますが、場面場面を詳細に想像しながら何が支障か、施設での生活に支障をきたさないように4か月間の改修工事を迎えたい。

当初は予算の関係上、建物構造的に手当の必要な最優先すべき所と、利用者の高齢化に伴っての改修のみでしたが、どうせリフォームをするならあれもこれもと欲が出るもので、なかなかない機会ですのでこの際出来るだけ思うようなリフォームがしたいと、追加工事も上げていますが成立するかはすべては予算次第です。環境が綺麗に整えば、綺麗に使うようになると思われま。少しでも心地よく暮らせる環境整備に努めて参りたいと思ひます。併せてソフト面、我々支援員も同様にこれまでの支援の在り方の修正や見直しを図りながら支援が綺麗と評価して頂けるよう併せて努めて参りたいと思ひております。

(上原文裕)



# 食欲の秋にもってこい！ズバリ！！ 今回のテーマは… 低糖質スイーツ★ おいしくもしかして 痩せられる？！ ~栄養士正やんの健康レシピ☆~

「低糖質」といえば「ダイエット」ですが、もともとは糖尿病の方の治療の一環として考えられた物です。炭水化物（糖質）を減らしてたんぱく質や脂質を増やし、血糖値の上昇をゆっくりさせる食べ物です。

今回のレシピでは、炭水化物の元になる小麦粉を減らし、代わりにきな粉を使ってみました。運動後に食べれば、あのCMのように結果にコミットできるかも！？です。 (正長 治)

## <きな粉入りチョコブラウニー>

### <材料>

板チョコ	2枚
無塩マーガリン	40g
たまご	2個
小麦粉	100g
きな粉	50g
豆乳(牛乳)	大2

### ◆作り方◆

- 1 板チョコとマーガリンを湯せんで溶かす。
- 2 小麦粉ときな粉を粉ふるいでふるう。
- 3 たまごを湯せんにかけ泡立てる。途中で砂糖を加えながらしっかり泡立てる。
- 4 ③に①を混ぜる。ある程度混ぜたら②と豆乳を加えて手早く混ぜる。
- 5 170℃のオーブンで25分焼く。

甘さ控えめで、とても食べやすかったです。どんな方にも食べていただけたらと思います。

機関誌担当より



- ※きな粉の代わりにアーモンドフードル・大豆粉・おからパウダーにしても低糖質になります！！
- ※小麦粉をホットケーキミックスに変えると、より簡単につくれます！！
- ※チョコレートを市販のあんこに変えてもおいしく食べられます！！

## ナースの独り言

### ◆高齢化に伴う嚥下について◆

人間はそれぞれ臓器・器官があり、それぞれの役割がありますが加齢に伴い衰えが見られてきます。人の体は骨や筋肉によって動きますが、嚥む・咀嚼・嚥下に絡む舌・歯・咽頭周囲の筋肉も同様に動きが鈍くなることで誤嚥になってしまいます。寝る・起きる・食事・運動・排泄に加え、精神的な健康を保つことも健康的な体を維持することに繋がると思います。それらの中で1つでも狂いが出た時、食欲や意欲（運動となる動き）がなくなってきて、それに年齢も重なり筋肉の衰えも出てくるのだと思います。

「食べる」とは食べ物を見て・嗅いで確認し、お箸を持って口に運び、嚥んで咀嚼、飲み込み食道を通して、胃・小腸・大腸（消化・吸収）を経て排泄しますがそれらも筋肉の動きで成り立っているのです。むせる事は気管に入らないよう自己防衛の筋肉の動きですが、それが鈍くなると唾液を含む食べ物が気管に入ってしまう誤嚥性肺炎となり、悪くなると重篤な状態になることもあります。

### ◆誤嚥・誤飲しやすい方◆（障がいがある利用者の方は精神科の薬を飲んでいる人が多い為副作用も含む）

落ち着きがない方・よだれがある人・食べ物を長く口の中のために時間が掛かる人・嚥まない人・むせることが多くなった人、その他機能の衰えを感じる方へ



5つの  
アドバイス

- ①体力維持の為10～30分でもウォーキングをする
- ②口腔ケア・口腔内マッサージ、耳下部周囲をマッサージし唾液亢進
- ③発声練習（カラオケなど）を日々取り入れる
- ④食事前には水分を摂り、口腔内を潤わせる
- ⑤少し前かがみの姿勢、食事の置く場所、形態、色、匂い、とろみを使うなどの必要性を検討

# ボランティア御礼

ボランティアセブン様 真鍋和美様  
 散髪ボランティア 「山の会」様  
 エンゼルQ様 四條暖お話の会様

## ボランティアさん大募集!

- ・一緒にお出かけしませんか?
- ・一緒にお仕事しませんか?
- ・一緒に旅行にいきませんか?

※利用者の方たちと楽しく過ごしていただける方を募集しています。興味のある方はお気軽にご連絡下さい。

連絡先：なわて更生園  
 松浦 (TEL: 072-876-3334)

## お知らせ

いよいよ、なわて更生園の大規模改修工事が始まりました。それに伴い、ショートステイ利用は期間限定ではありますが、中止させていただくこととなりますのでご了承ください。  
 ご不明な点はショート担当までご連絡ください。

# 人事

### 【入職】

松浦 真紀	生活支援員	なわて更生園	4/1付
都能 正	運転手	なわて更生園	4/1付
谷口 芳幸	運転手	なわて更生園	4/1付
横川 浩一	生活支援員	なわて更生園	4/1 5付
高木 博子	世話人	グループホーム	4/1付
松本 昭子	世話人	グループホーム	4/1付
土居 一輝	世話人	グループホーム	4/1付
平岡 理恵	世話人	グループホーム	4/1付
下岡 浩靖	世話人	グループホーム	4/1付
澤井 克仁	生活支援員	グループホーム	4/1付
岩本 ひろみ	生活支援員	グループホーム	4/1付
福山 郁子	生活支援員	グループホーム	4/1付
安部 加壽子	生活支援員	グループホーム	4/1付

### 【退職】

田中 美都子	生活支援員	津の辺	4/30付
川原 裕美	生活支援員	忍丘作業所	6/30付
河野 学	生活支援員	なわて更生園	6/30付

### 【異動】

川口 晴男	菰屋作業所	→津の辺	6/1付
始田 貴大	なわて更生園	→津の辺	7/1付
尾座 恵子	津の辺	→忍丘作業所	7/1付

## うれしいニュース★



7月10日に京セラ株式会社大東事業所の食堂近くの休憩エリアでの物品販売会に津の辺も参加してきました。

そのことが京セラ株式会社様のFace bookに載りました。

# ありがとうございます!

## 社会福祉法人 四条啜福社会を支援するための 「賛助会員」 入会のお願い

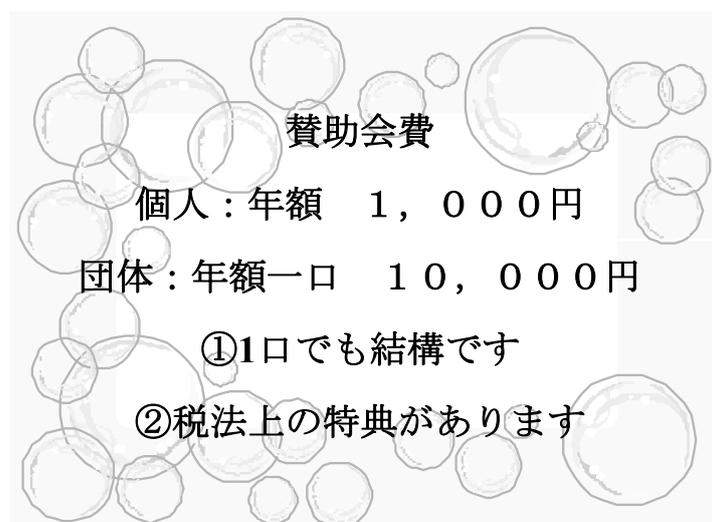
四条啜福社会は平成2年3月大阪府知事の認可を受け、知的障がい者の育成を目的として、社会福祉事業に理解ある人達や保護者によって設立されました。

今、障がい者問題は、障がい者を保護育成する時代から、社会の構成員として共に地域生活ができるよう福祉サービスの推進が求められる時代となってまいりました。

しかしながら知的障がい者が安心して生活が送れる地域社会への実現にはさらになお多くの方々の御協力、御支援が必要でございます。

つきましては、皆様方には、知的障がい者の現状をご理解いただき本法人活動に、賛助会員として御支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、この会費は、「寄附金」として、本法人の経営する第一種および第二種社会福祉事業に使用させていただきます。



### 『賛助会員』 加入の御礼及び協力者一覧

平成28年3月1日から平成28年6月30日までに賛助会員に賛同して下さった方は9名、総額費は116万4千円でした。ありがとうございました。

木岡 政一様 小山 トシエ様 キンキ寝具株式会社様  
杉山 乙彦様 加護野 香代子様 中西 節子様  
藤川 朗様 大東コスモス福祉会様 (順不同)

# 支援スタッフ募集 知的障がい者への理解のある方!!

<b>支 援 員</b> <b>年令 30 歳迄</b> 長期勤続によるキャリア形成を図るための若年者等の募集（3号のイ） 要原付免許 勤務地：なわて更生園（四條畷市南野 2463）	正月給／ 209,920 円～（短大・専門学校卒の場合）  223,320 円～（4 大卒の場合） （夜勤手当 4,000 円/4 回・処遇改善手当含む） （近辺居住の世帯主に限り住宅手当 20,000 円支給） （試用期間 3 ヶ月）	7：00～ 15：30 9：00～ 17：45 13：00～ 21：45 15：00～翌 10：00  シフト制（夜勤有）
<b>看 護 師</b> <b>年令 45 歳迄</b> 長期勤続によるキャリア形成を図るための若年者等の募集（3号のイ） 要普通自動車免許 勤務地：なわて更生園（四條畷市南野 2463）	正月給／ 278,800 円～（正看護師の場合）  258,760 円～（准看護師の場合） （職務手当・処遇改善手当含む） （経験考慮します） （近辺居住の世帯主に限り別途住宅手当 20,000 円支給） （試用期間 3 ヶ月）  利用者の健康管理、通院介助など	9：00～17：45
<b>調 理 員</b> 勤務地：なわて更生園（四條畷市南野 2463）	日給／6,871 円  事業所での食事提供にかかる全般	6：30～14：00 9：00～17：45 14：00～19：00  シフト制(時間応相談)
<b>調 理 員</b> 勤務地：津の辺（大東市南津の辺町 1-43）	時給／884 円  事業所での食事提供にかかる全般	9：00～14：00
<b>世 話 人</b> 勤務地：（大東市内・四條畷市内に複数ヶ所有り）	一泊／14,274 円  利用者の身辺援助、食事提供が主な仕事です。	16：00～翌 10：00  (仮眠有)
<b>雑 務</b> 勤務地：なわて更生園（四條畷市南野 2463）	時給／884 円  利用者の衣類等の洗濯・掃除	9：00～17：45

【待遇】各種社会保険、賞与年2回、有給休暇有、交通費支給（上限有り）【応募】まずはお問い合わせ下さい

<b>編集後記</b> 年内最後の発行となり、次回は年明けとなります。今年は色々なことがあり、日々勉強だと強く感じました。 藤田	【短期入所利用状況】※延べ人数（平成28年3月1日～平成28年6月30日）		
	利用者数(なわて更生園)	男性：221名	女性：192名
	【日中一時支援】 ※延べ人数（平成28年3月1日～平成28年6月30日）		
	利用者数(なわて更生園)	男性：87名	女性：2名
	利用者数(津の辺)	男性：111名	女性：80名